



ひめじ市民法律事務所

市民法律だより

明けましておめでとうございます

新年は、木下龍也さんの詩集「オール アラウンド ユー」から。

風にだけ読める宛名が花びらに書かれてあってあなたへ届く
はなびらはやさしい地雷 踏むたびに胸のあたりがわずかに痛い
花を嗅ぐひとときだけは許されたような気持ちでマスクを外す
生きてみるのが答になるような問を抱えて生きていこうね
読み終えてややふっくらとした本にあなたの日々が挟まれている

ウクライナでの戦争が続いています。2度の世界大戦があったのに、再び欧米諸国を巻き込んだ大国間の総力戦・持久戦となりつつあります。対岸の出来事ではありませんし、「管理された戦争」として推移する保障もありません。気候変動・温暖化への対処、党やその指導者を国家の上に置き、多数決では奪えない人権があるとの考えを基礎としない13億人の国家との関係、食料・エネルギー、コロナ、物価上昇と円安、デジタルへの対処…。どの問題を捉えても、危機は深く、運動論の最適解が不透明で、各国の政府部門の力だけで対応できる問題でもなく、市民社会（NGOや労使団体や各種の職能団体を含む）がどう動いていくべきかも悩ましい。

そんな時代ですが、やはり、詩は大事なことを教えてくれますね。

皆様からお伺いした事柄を、お話を聞き、手触りも確認しながら、絡まったものをほどこき、必要なら、幾つかの、法の糸で太く描かれるものへと紡いでいく。

時に法の火を点したなら、精魂を込めて息を吹きかけ、風も確かめながら、これもやがては、安心や笑顔が得られるよう落ち着かせてゆく。そのようにしながら、相談者・依頼者も、私たち法律の世界で働く者も、「生きてみるのが答になるような問を抱えて生きて」いくのかなと思います。

これからの1年が、皆様にとって、健やかで素晴らしい年となりますことを祈念して、新年のご挨拶と致します。

2023年（令和5年）正月

所 員 一 同

発行責任者

〒670-0952 姫路市南条10-4

ひめじ市民法律事務所

弁護士 平 田 元 秀

電話 079-282-0430

FAX 079-282-0433

<http://himejishimin.com/>

事務所営業時間

月～金 午前9時30分

～午後6時

土曜日 午前中 予約相談あり

コンテンツ

新年のご挨拶	1
弁護士の小話	2
アンケート	3
事務所行事	4
編集後記	4

「するときはミスは2回する。」

平田元秀

夏、1年の折り返し地点となるころ、私は兄と高い山に登る。



兄は、ガラクタばかり詰まった思い出話の宝箱を持っていて、折に触れてそれをちらっと見せてはしまい込む。「尾上の松のデカー」、「養田のホームランバー」、「川の決闘」、「恐竜の骨」「70円と学習机」などのお喋り、二人の間では堂に入った名演目で、皆さんにお披露目できないのが残念である。近いところでは「ヘルペスへんしーん」、「平湯のクーラー」という新作もある。

兄は、「やらかした話」を決して逃がさない。自分の話も他人の話も公平に、面白おかしくリメイクするし、リメイクされてしまう。

☆☆☆

ところが、兄を不機嫌にする「やらかし」もある。

兄には、許せないボンミスというものがあるようで、これを「やらかす」と、結果オーライでも許してくれない。

①度目は、木曾駒下山後の美ヶ原でのミス。湯宿の予約が通ってなかった。結果泊まれたが。それから②度目は、くじゅう連山下山後の帰路、「ゆふいんの森2号」の出発時間転記ミスによる乗り遅れ。料金ロスなく80分後の特急で帰れたが。

ただ、不思議なことに、人は、するときはミスを大抵2回はする。

木曾駒の時は、ロープウェイの麓駅の駐車場に停めた車のトランクにサンドイッチを忘れた。兄には、山頂駅で山菜うどんを食べている時も、その後も、ネタとしていじられた。くじゅう連山の時は、プランの中に、日曜日に運行してない電車での乗り継ぎがあった。これは旅の計画をかなり狂わせたが結果オーライだった。旅はそんなもの。

でも、「お前に任しとる」部分だからなのか、下山後ほっとした後だからなのか、その両方な

のか、分からないけど、兄は、上述の①②のミスにはなぜか不機嫌になった。こういうときは、変な言い訳はせず、兄の心に届くよう、「こういうところ迷惑掛けた。これからこういうところ気をつける。」と言って、ちゃんと謝るのが一番いい。

たいがい、反省点は「事前の準備不足をしない」とか、現場においては、「明日のことを寝る前にもう一回確認する」とか、「行動時間に余裕を持つ。」といったあたりのことである。すると、機嫌を直してくれる。

☆☆☆

今年下半期を振り返った時のキーワードは、国内では、岸田内閣の参議院選挙と、安倍元総理銃撃・国葬・旧統一教会癒着問題になってしまふ。

今の世界で、先進国のリーダーを務めるのは、大変なことだと思う。そして、岸田さんは、安倍さんと比較して、より全方位な方だったはずである。ウクライナ戦争で、憲法改正へと安倍路線を掲げてしまったところで、国葬問題で世論を2分し、旧統一教会癒着問題やらで3回も大臣の辞任を引き起こして、土が付いてしまった。

前政権のイデオロギー的なところは、脇においておけばよかったのだと思う。この難局の中でも、国と世界の進むべき進路を正しく一歩一歩進めるべきことばかりが山積している。この政権を沈めても、次が見えない。もともと、事前の準備不足はあっても、保守にもリベラルにも理解者のいる政治家なのだから、政権の目指すオーソドックスな太い方向を明確にし、社会の各方面の支持と協力を政治的に取り付けること、現実に社会の各方面に役割を担ってもらうことについて、せめて、「明日のことを寝る前にもう一回確認する」とか、「行動時間に余裕を持つ。」ということをしてもらいたい。

今年（2023年）一年をしっかりと注目していきたいと思う。

（2022年11月24日記）

事務所員アンケート



事務所員全員にインタビューしました!!

- ①何をしている時が一番幸せ?
- ②もし宝くじで3億円当たったら?
- ③自分を動物に例えたら?
- ④タイムトラベルできるなら、過去と未来どっちに行きたい?
- ⑤最近買った物は?
- ⑥休みの日は何をして過ごしてる?
- ⑦学生時代にやっていた部活は? アルバイトは?
- ⑧子どもの頃から変わらないところはどこ?
- ⑨老後の過ごし方は?
- ⑩最後の晚餐は何を食べたい?

- ①よく晴れた早朝、ランニングから帰宅して、庭の手入れをしているとき。
- ②買ったら当たる可能性があるけれど、買わないので当たることはないのです。
- ③犬だと「ビーグル」かな。ビーグルはスヌーピーのモデルとなった犬種です。短毛でフレンドリーで活発に動くんだそうです。鳥だと「ルリビタキ」かな。私は歌うのがとても好きなので。
- ④片道切符なら未来。未来の方が大事にしてもらえそうだから。1回だけ往復できるなら、それも未来。未来に起きる災害は、現代に戻って避けるよう努力できるから。でも、もしどうしても片道切符で過去に行かねばならなくて、そして、選ぶ権利があるなら、明治初期の日本ですかね。ここなら、まだ、お役に立てる気がするから。
- ⑤ロックバンド「ONE OK ROCK」の代表曲「The Beginning」の楽譜を買いました。
- ⑥神戸とか大阪とか京都の美術館などにドライブがてら出かけることが多いです。
- ⑦高校時代は生物部において葉脈標本を作っていました。大学時代は、家庭教師や塾教師をして凌いでいました。
- ⑧利き手、利き足、そして好奇心。
- ⑨ランニング、山歩き、料理、歌、社会奉仕活動、文筆活動、その他あげたいもの掘り下げたいもの盛りだくさん。
- ⑩香港尖沙咀のHung Lee Restaurantの干し鮑のおかゆ。
(平田)

- ①家族アルバムみてね (アプリ) で孫の動画や写真を見る時、孫とラインでビデオ通話している時、推しが出演している番組を観ている時
- ②のんびり世界の美術館巡り、観劇三昧
- ③鳥? (指の甘皮を剥いてしまう癖があるから)
- ④強いて言えば過去。学費の心配をしないで大学生活を謳歌
- ⑤カムバした推しのアルバム (祝トリプルミリオン達成!)
- ⑥韓国ドラマの一気見、または書店で本を散策
- ⑦中高ともに演劇部、アルバイトはレジ打ち、料亭の配膳係 (着物が着たかったから) などなど
- ⑧本に囲まれていると安心するところ、収集癖 (好きになったら集めずにはいられない!)
- ⑨いつから老後? いつまでも好きなものを追いかけてそう。今の目標は孫と三世代でライブ参戦!
- ⑩梅干しのおむすびと緑茶
(美)

- ①単純なので、よく幸せを感じます。お風呂上がりのお手入れの時間、ハンドクリームの香りをかいだ時、愛猫が抱っこ〜と言ってきた時…などなど。
全部、幸せと思うのですが、一日の終わり、「何事もなく無事に一日が終わったなあ」と眠りにつく時が1番なのかな。
- ②家族皆が平穩に暮らせるように分けて、残れば⑨番の費用に充てたい。
- ③星ひとみさんの天星術占いによると、リスザルだそうです。
- ④未来! 嵐の活動再開を見届けたい。
- ⑤大切な人へのプレゼント
- ⑥年に何度か、ライブに行き、その土地を巡ります。
普段のお休みは、YouTubeを見たり、ランチの美味しいお店に行ったりしています。
- ⑦学生時代は、バスケットに明け暮れました。
- ⑧すぐ寝るところ
- ⑨叶うなら、日本とハワイを歩きまわりたい。夢のまた夢(*^_^*)
- ⑩母の作る甘酒
(M)

- ①おいしいものを食べているとき
- ②財布の中身や値段を気にせず、旅行に行きたいところに行き、好きなものを買います。
- ③イノシシ。猪突猛進のとおり、ひとつのことに向こう見ずにまっすぐに、猛烈ないきおいで突き進んでしまうので、Mさんのストップがかからないと大変です。😞🐷
- ④過去。失敗をやり直したい。
- ⑤ブンブンチョッパー。みじん切りが苦手な私も超簡単にスピーディにできます(*^_^*)
- ⑥ひたすらテレビの前でゴロゴロ。
- ⑦コンビニローソン一本でした。新商品の入荷がとても楽しみでした。
- ⑧負けず嫌いなところ (負けるぐらいなら最初からやらない)
- ⑨とにかく虫が嫌い。でも田舎でのんびり暮らしたい。
- ⑩家族で食卓が囲めたらあるもの何でもいい。
(ひ)



事務所行事 ～事務所旅行～

今年は、日帰りで岡山県を満喫してきました。

まず始めに、備前市にある、現存する世界最古の庶民のための公立学校「特別史跡旧閑谷学校」を見学、敷地内を散策しました。広々とした敷地には、講堂・聖廟・神社などの建造物が、昔のままの姿で残っています。国宝になっている講堂は、床が拭き漆でよく磨かれていて光が反射しまぶしかったです。

旧校舎を利用した資料館につながる道には、見応えある「切り込みはぎ式」の、まるでかまぼこを連想させるような石塀が続いていました。



紅葉には、まだ少し早かったのですが、秋を感じさせるうろこ雲に、ちょうどこの日うまく遭遇することが出来、庭と一体化してとて

もきれいでした。

お昼は、赤磐の隠れ家レストランでフレンチ。さすがは隠れ家、お店は山と住宅地の中にありすぐに見つけることは出来ませんでした。アットホームな雰囲気の中、贅沢なランチをゆっくりくつろぎながらいただき、視覚も味覚もおなかも満たされました。

その後、ドイツの森で秋桜とバラを觀賞し、園内を散策しました。チューチュートレインに乗車して、童心に戻りまずは2人ずつでゴーカートへ。競争だ!と思いましたが、同時に走ることは出来ず順番に(-_-;)それならスピードを楽しもうと思いきりアクセルを踏んだがあまり加速しない。なぜ?と思ったら隣でMさ

ん足置きと思い、ブレーキに足を乗せているではありませんか。邪魔です、急いでどけて「さあ行くぞ!」とアクセル踏み込んだのですが、思ったほどスピードは出ず不完全燃焼でした。

次は、足こぎボートに大人4人で乗りました。

ペダルを4人が一生懸命ひたすらこいでいると、平田弁護士の一言「まるでジムやな(-_-;)」乗っている最中、何度も思い出し、笑えてしまう楽しいボートでした。軽く立ち寄るだけのつもりが、なかなか楽しめた園内でした。



少しおなかを減らしたところで、今回のメインであるブドウ狩りです。食べ放題ですが、収穫できるのは一人一房。一房食べ終えた後にもっと食べたい方には、「おかわり用のマスカット」が用意されていました。まずは房選びからどれにするか迷いながら選択

し、実食。どれも甘すぎるくらいとっても甘かった。さすがに一房は食べきれずお土産にお持ち帰り。園のおばさんが言うには、6房食べて帰った人がいるとのこと(ただただ啞然(O_O);)

最後は、甘い物で休憩。さっきブドウを食べたはずなのに別腹です。新鮮な果物を使ったワッフルやタルトにパフェ。岡山は「フルーツ王国」これは誰もが認めるほんとの話、そして私たちは帰路につきました。

(ひ)

編集後記

明けましておめでとうございます。

2022年は、前年から引き続き新型コロナウイルスの感染拡大が、私たちの生活に大きな影響を与えた大変苦しい年でした。

2023年は、十二支では、「卯(う)年」です。

「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ、「春の訪れを感じる」という意味があり、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから、「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われているそうです。

そうであれば、今までの数年から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上することが期待できる年かもしれません。今年こそは、感染状況が好転し、脱コロナを願いたいものです。

皆様が、笑顔で暮らせる日が来ますように、今年もよろしく願いいたします。

(ひ)